



鶴  
図

2999  
~13



2999

2999

柳亭種彦作

一名風流牡丹燈籠之記

歌川豊國畫

午春新版



西村屋與八梓

昭和九年七月二日

# 浮世一休問答

全部六本

此冊子を讀本に綴らんとして大に筋趣向がまらけ  
おてが隙をこのりて草稿を終りされはそを死にせんも  
惜く其趣意を略略要と擧ぐ例に繪草紙の形に原  
素丁數のりてはまを鳴呼調乃足さふと如何せん

文政 辛巳 緑秀稿成 柳亭種彦識

東都馬喰町二丁目 永壽堂 西村屋與八製本

浮世一休





高須の歌妓  
うつく

墨繪之助  
松風  
舎弟  
古賀  
之丞



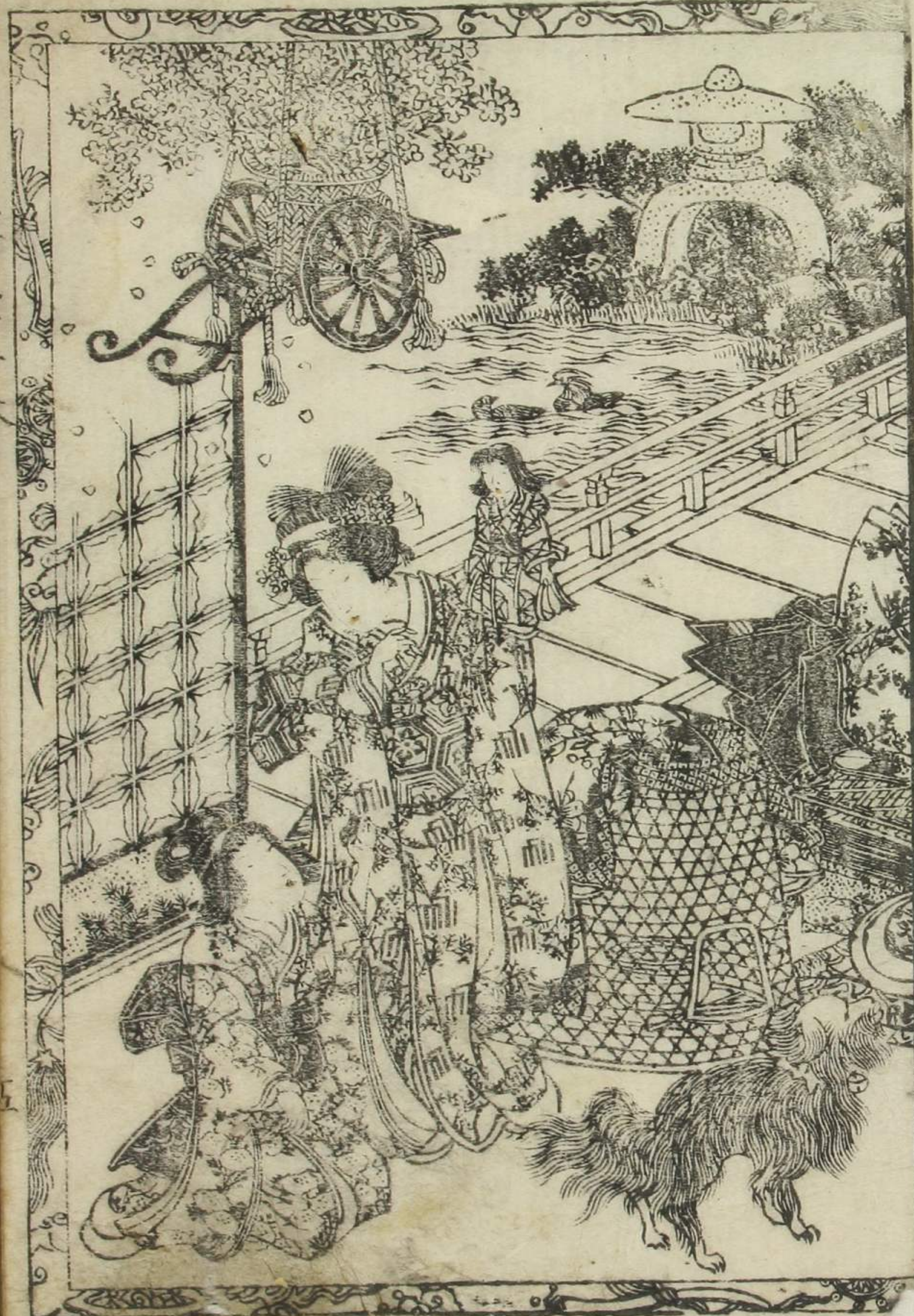
何人の身  
あると云  
知るは  
今俗ハ  
父をこひきと云  
慶安の御本末を  
母あり

土器賣畑作  
實ハ墨繪之助が近臣  
花川六三郎

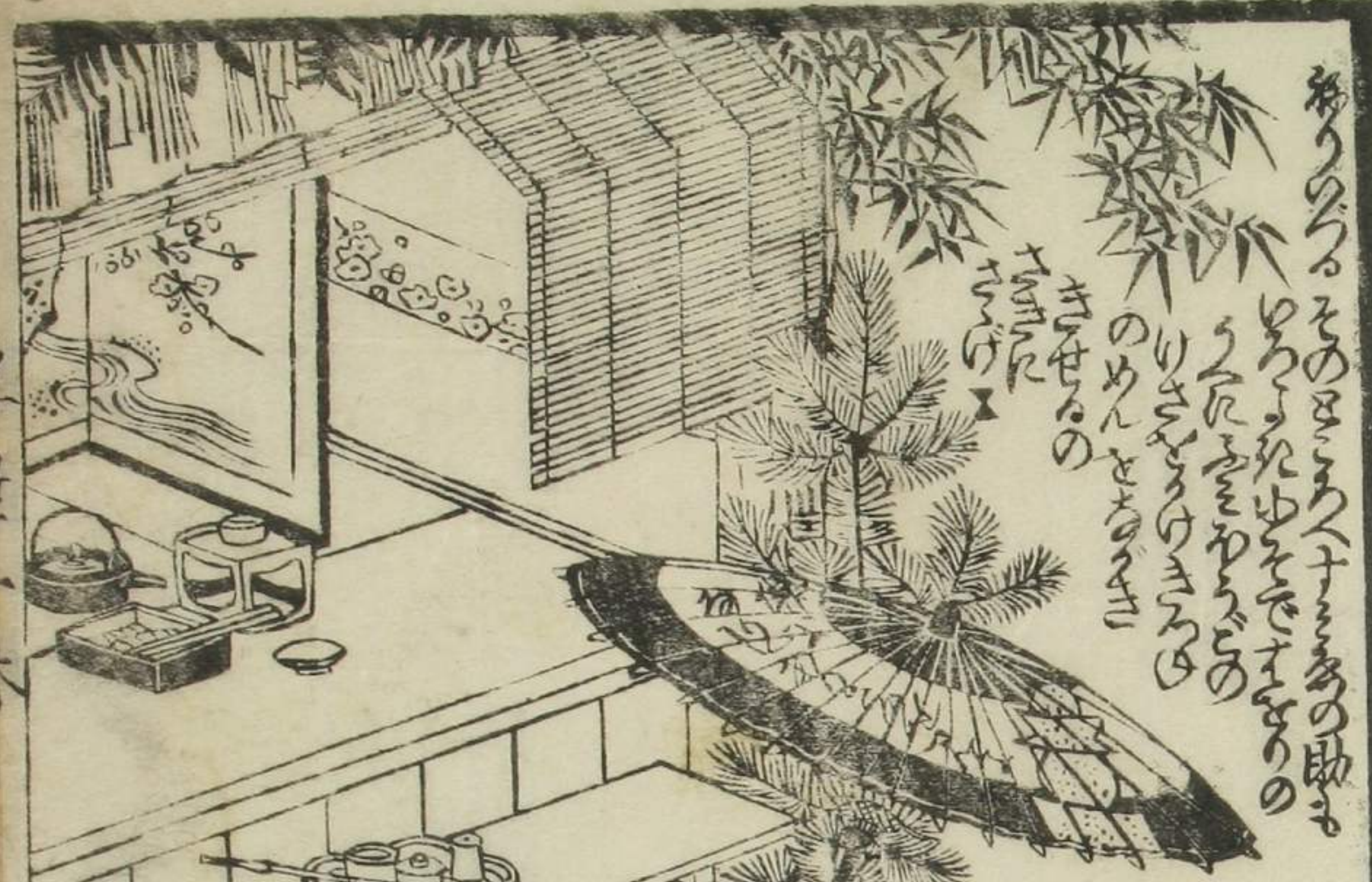


湛く 浄水 天の 人の 視る 瑠璃の 鉄鬼 乃 視る 猛火 乃 如く

地獄 前 視







新緑の春の  
 風情を  
 迎ふ  
 竹の  
 葉の  
 音  
 が  
 心  
 を  
 清  
 め  
 る  
 如  
 き  
 な  
 り  
 と  
 思  
 へ  
 る  
 也  
 〇  
 春  
 の  
 風  
 情  
 〇  
 竹  
 の  
 葉  
 の  
 音  
 〇  
 心  
 を  
 清  
 め  
 る  
 如  
 き  
 な  
 り  
 と  
 思  
 へ  
 る  
 也



〇  
 春  
 の  
 風  
 情  
 〇  
 竹  
 の  
 葉  
 の  
 音  
 〇  
 心  
 を  
 清  
 め  
 る  
 如  
 き  
 な  
 り  
 と  
 思  
 へ  
 る  
 也  
 〇  
 春  
 の  
 風  
 情  
 〇  
 竹  
 の  
 葉  
 の  
 音  
 〇  
 心  
 を  
 清  
 め  
 る  
 如  
 き  
 な  
 り  
 と  
 思  
 へ  
 る  
 也

江戸一  
 〇



〇  
 春  
 の  
 風  
 情  
 〇  
 竹  
 の  
 葉  
 の  
 音  
 〇  
 心  
 を  
 清  
 め  
 る  
 如  
 き  
 な  
 り  
 と  
 思  
 へ  
 る  
 也  
 〇  
 春  
 の  
 風  
 情  
 〇  
 竹  
 の  
 葉  
 の  
 音  
 〇  
 心  
 を  
 清  
 め  
 る  
 如  
 き  
 な  
 り  
 と  
 思  
 へ  
 る  
 也



〇  
 春  
 の  
 風  
 情  
 〇  
 竹  
 の  
 葉  
 の  
 音  
 〇  
 心  
 を  
 清  
 め  
 る  
 如  
 き  
 な  
 り  
 と  
 思  
 へ  
 る  
 也  
 〇  
 春  
 の  
 風  
 情  
 〇  
 竹  
 の  
 葉  
 の  
 音  
 〇  
 心  
 を  
 清  
 め  
 る  
 如  
 き  
 な  
 り  
 と  
 思  
 へ  
 る  
 也





下つておぼろや ざら  
 ろろや ねんねん ざら  
 とまや ねんねん ざら  
 したわ ねんねん ざら  
 わり ねんねん ざら  
 せん ねんねん ざら  
 しめよ ねんねん ざら  
 うい ねんねん ざら  
 ちの ねんねん ざら  
 の ねんねん ざら  
 して ねんねん ざら

わさね  
 ぎんぎの  
 さくらぎの  
 あくはる  
 びんぎの

おの  
 ま  
 ま  
 ま

世一



の  
 ろ  
 ろ  
 ろ  
 ろ

おの  
 ま  
 ま  
 ま

おの  
 ま  
 ま  
 ま





卷之三



三つ葉のつれづれに  
まらぬをいふは  
とていふは  
さういふは

いふは  
さういふは  
まらぬをいふは  
とていふは  
さういふは

これら  
まらぬをいふは  
とていふは  
さういふは

三十一



いふは  
まらぬをいふは  
とていふは  
さういふは

これら  
まらぬをいふは  
とていふは  
さういふは

三十一





世一休

十三



世一休



七十一

...

...

...

...

...

...





豊国画

種彦作



諸民通用

蓮池堂書  
手紙之文言 中本一冊

頭書

婦人手紙之文言 中本一冊

懷中

奇子節用集 小本一冊

白澤避

恠圖 東江源 繪書

壽百人

一首操鏡 中本一冊

右様のく出版は... 永壽堂 西村屋與八板

世書... 蓮池堂先生... 板本... 筆...

早引... 懐中... 奇子節用集... 東江源...

白澤避恠圖... 東江源... 繪書...

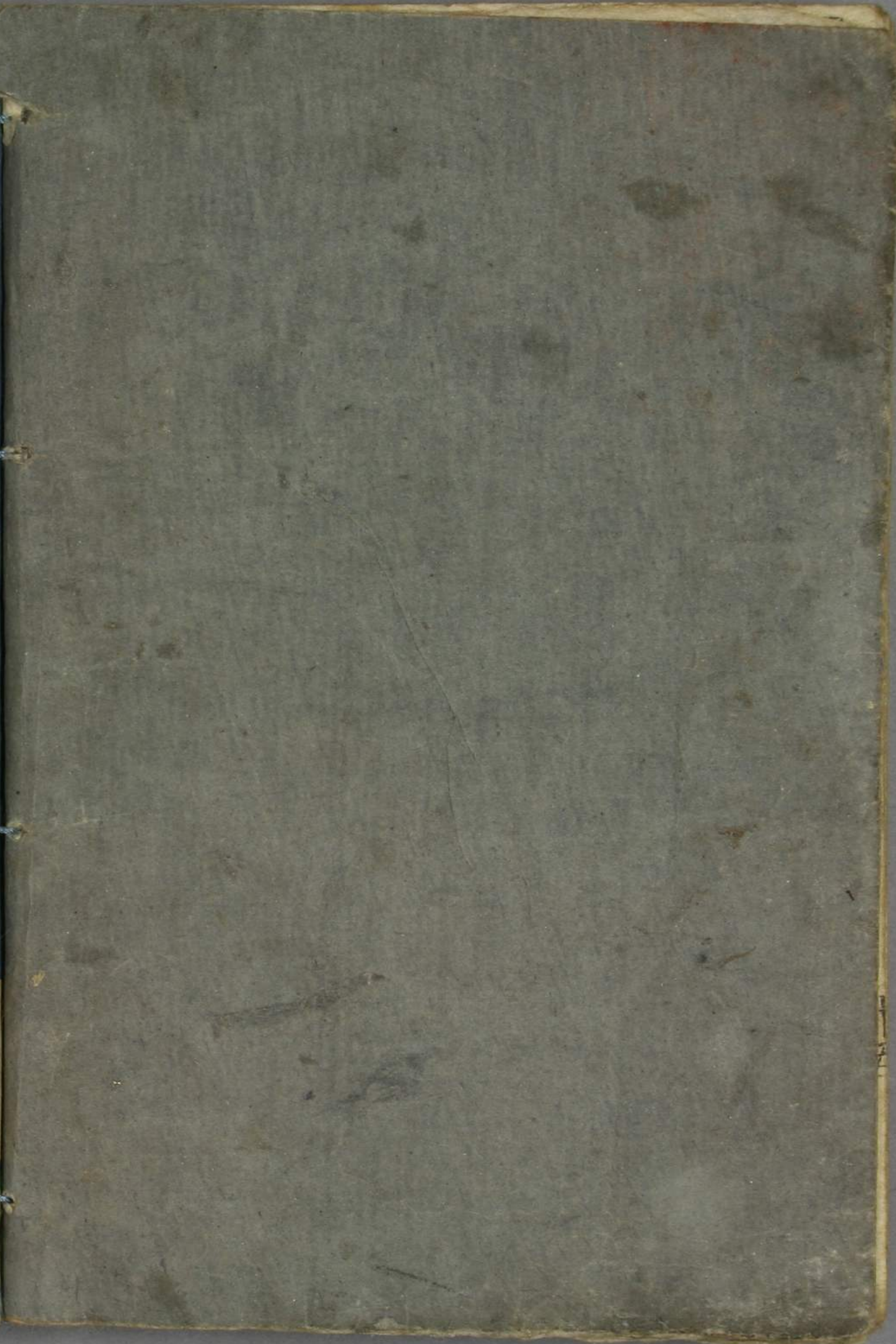
壽百人一首操鏡... 中本一冊...

右様のく出版は... 永壽堂 西村屋與八板

一  
名風流牡丹燈籠

柳亭種  
彦著  
歌川豐國  
畫

後  
帳













三三三  
 大内  
 義弘  
 道  
 三三三  
 三三三

此の... 助... 後...  
 三三三...  
 三三三...  
 三三三...

法師武者  
 木公

四の...  
 一は...  
 二は...  
 三は...  
 四は...

法師武者  
 木公

Handwritten text in the left margin of the right page.

Handwritten text in the right margin of the left page.



海世一



いさゝかのをたるとのむねれが  
 今にありてあれはさうのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが



いさゝかのをたるとのむねれが  
 今にありてあれはさうのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが

十一



いさゝかのをたるとのむねれが  
 今にありてあれはさうのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが



いさゝかのをたるとのむねれが  
 今にありてあれはさうのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが  
 かのむねれがのむねれが

海世一

十一











うまひのめりまら せうとせうひ  
 きつてあんなとあるさあおれたのをさうに  
 いひつけてこまひひとるれめあまを  
 かろんとあまひひとるれめあまを  
 きまひまひあまひひとるれめあまを  
 せうとせうひあまひひとるれめあまを  
 いひつけてこまひひとるれめあまを  
 あひとせうひあまひひとるれめあまを  
 まあまひひとるれめあまを  
 まあまひひとるれめあまを

うまひのめりまら せうとせうひ  
 きつてあんなとあるさあおれたのをさうに  
 いひつけてこまひひとるれめあまを  
 かろんとあまひひとるれめあまを  
 きまひまひあまひひとるれめあまを  
 せうとせうひあまひひとるれめあまを  
 いひつけてこまひひとるれめあまを  
 あひとせうひあまひひとるれめあまを  
 まあまひひとるれめあまを  
 まあまひひとるれめあまを



うまひのめりまら せうとせうひ  
 きつてあんなとあるさあおれたのをさうに  
 いひつけてこまひひとるれめあまを  
 かろんとあまひひとるれめあまを  
 きまひまひあまひひとるれめあまを  
 せうとせうひあまひひとるれめあまを  
 いひつけてこまひひとるれめあまを  
 あひとせうひあまひひとるれめあまを  
 まあまひひとるれめあまを  
 まあまひひとるれめあまを

Handwritten text in the top left corner of the right page, written in vertical columns.

Handwritten text in the middle left of the right page, surrounding the top of the illustration.

Handwritten text in the bottom left of the right page, surrounding the bottom of the illustration.



Handwritten text in the top left corner of the left page, written in vertical columns.

Handwritten text in the middle left of the left page, surrounding the top of the illustration.

Handwritten text in the bottom left of the left page, surrounding the bottom of the illustration.









紙草繪新 午壬政文

歌川豊國畫

柳亭種彦作



いづくせんまんにあつて  
 〇すま多助あつたのうらなうらふ  
 のうらうらくむらさきくそま  
 水ぞく入すむのと名取  
 中こあや  
 やま  
 〇すま多助あつたのうらなうらふ  
 のうらうらくむらさきくそま  
 水ぞく入すむのと名取  
 中こあや  
 やま

備書  
 藍場晋米  
 彫刻  
 江川留吉

屋村西

浮世一休花街問答 全六册 柳亭種彦作  
 小菊の井 孝貞両岸一覽 全六册 柳亭種彦作  
 義我画力 拙言女丹前 全四册 志満山人作  
 柳系 紫糸 全三册 柳笑梵満人作  
 正本製 難波家土産 全六册 柳亭種彦作  
 川国貞画

美楚仙文香  
 貴弘西  
 皆馬  
 永寿堂  
 西村与八板行

